

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 サポートセンター ら・フロレゾン

公表日 令和 8年 2月 27日

Table with 6 columns: 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提, チェック項目, はい, いいえ, 工夫している点, 課題や改善すべき点. Rows 1-17.

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・同じ活動であっても発達段階に応じて、内容を変更し、固定化しないようにしています。	・就学に向けた繰り返しの取り組みも必要だと考えていますが、同じ内容ばかりにならないよう考えていきたいと思います。お子さまが楽しく取り組めるように内容の充実を図りたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・個別で過ごせる活動、課題活動の集団活動は、他児との関わり方を学んだり、ルール遊びをしたり等、日課の中でそれぞれの時間が確保できるよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・朝礼では、当日の活動の流れを確認し、職員はその日の役割分担などを話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・その日の活動や子どもたちの様子の振り返りを行い、日報へ支援や活動内容の改善点を記入しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・利用の様子は、支援日誌やケース記録等に記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・決まった期間にモニタリングを行い、個別支援会議を開催しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・担当者会議には、児童発達支援管理責任者等が参加しています。会議後は、職員間での情報の共有に努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・モニタリング時期での保護者面談の機会には園の先生方にもお声かけさせていただき、情報共有が図れるようにしています。引き続き、連携できる関係作りに努めていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・送迎時の引継ぎ等、情報共有に努めています。担当者会議を園や事業所で行う等、お子さまの様子を見て相互理解が図られるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・移行支援ツールを活用し、就学先との情報共有に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・児童発達支援センター主催の連絡会に参加しています。他事業所との信頼関係の構築、研修・事例検討会などもあるため、そういった機会に意見を出し合いながら、地域の支援の質が高まっていくようにしていきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・ほとんどのお子様は併行通園されていますので、特別な交流等は行っていませんが、夏祭りの行事を通し、地域の方にもお声かけさせていただきました。	・地域の方々の参加を増やし、交流する機会が持てればと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・送迎時での利用状況のお話や、連絡帳を活用し、情報交換をさせていただいています。 ・面談の機会では、事業所だけではなく、自宅や保育園等で聞いているお話等、共通理解がとれるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・面談の機会や日々の連絡帳等、困り感がある保護者の方に対しては、個別でお子様の関わり方や対応方法について、対応を行っています。	・保護者会や保護者向けの研修の機会など、今後、有用な研修会の実施になるように考えていきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明をさせていただいています。 ・支援プログラムについては、公表しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・作成するにあたり、保護者との面談、日々のお子様の発言や活動の取り組みなどを通し、ニーズの把握に努めています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画は説明を行い、同意を得た上で支援を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談を受けた段階ですぐにお答えできるもの、他機関との連携も含めて行った方が良いもの等、最善な対応に努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母の会はありませんが、夏祭りやもちつき等の親子での行事参加を通じ、保護者同士の関係作りときょうだい同士の交流が行えるようにしていきたいと考えています。 ・1回ではありますが、今年度保護者会を開催いたしました。	・「保護者同士の交流の場がもう少しあるとうれしい」といったお言葉をいただいたため、頻度や内容の充実化を図るようにしていきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情については、第三者委員会を設置しております、ポスター掲示や利用契約時に説明しております。 ・日頃の子育ての悩み等、個別のニーズにも対応し、必要に応じて相談支援専門員の方等とも連携を図りながら、お子様が安心できる環境作りを一緒に考えたいと思っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・通信や広報誌を通じ、活動内容等を発信しています。 ・今年度からは、法人のホームページにあるブログを活用しました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に同意書をいただいています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さまとのコミュニケーションの手段としては、絵カード等、視覚支援も合わせながら行っています。 ・送迎時でのお話や、連絡帳を活用し、お子さまの利用状況等が伝わるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域交流の機会として、夏祭りを実施しました。	・今後は、より多くの方々にご参加いただき、事業所での取り組み等を知っていただく機会につながればと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを作成し、それに応じた避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・マニュアルに応じて定期的に避難訓練を実施し、職員研修で策定してある業務継続計画（BCP）の内容説明や周知を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用契約時に聴き取りをさせていただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・利用契約時に聴き取りをさせていただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・職員研修で策定してある安全計画について内容説明や周知を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・事故などが発生した時は、保護者へ連絡をし、状況の説明と、その後の対応をご相談しています。その後、事故報告書を作成し、再発防止策などを含め説明します。	・保護者の方への周知・説明が十分にできていなかったため、今後は十分な周知をさせていただく機会を作りたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書の作成にあたり、検証を行っています。職員間で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部研修の参加に合わせ、法人内で人権侵害者チェックリストの実施、人権侵害防止の書類への署名等を行い、虐待防止のための意識向上に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束は行っていません。		